

# みんなでやってみよう発表会

作成日：2024/11/20  
対象児：かえで組5歳児  
作成者：小城亜矢子

ねらい：友達とイメージを共有しながら、意見を出し合って発表会を作っていく。



できた！



ダイナマイトって言ったら  
このポーズでしょ！

## 振り返り

年少・年中と経験してきた発表会。今年度は自分たちで作り上げようということで、大好きな遊びから踊りを考えたり、かっこいいポーズを考案したりしながら踊りを決めていきました。ドッジボールやサッカー、バスケットに興味がある男の子達はボールを使った踊りをします。「こんなのどう？」と髪をかき上げたり、キックのタイミングなど、友達と笑いあいながら進めてきました。「えーそれは嫌」と意見が食い違う事もありましたが、そんな時には「どうしたらみんなが納得できるのか」を保育者も交えて話し合いました。「このポーズは取り入れる」「これはちょっとやめとく」「でもこうすれば両方の意見に近いかも」と子どもたちなりに折り合いを付けながら仕上げました。ちょっとおふざけの要素が加わったかえで組の男の子らしい踊りです。

女の子は、渚をイメージした曲なので、キラキラの海や貝殻の髪飾りを製作しました。「水色が好きだから、全部水色にしようかな」「かわいい感じにしたい」と子ども達のイメージを大切にしながら、難しいところだけ補助しながら完成しました。

今までは保育者が振り付けたり、用意したものを身に付けて踊っていましたが、自分達で意見を出し合って作り上げていくという作業が子ども達にとってはちょっと難しくもあり、でも自分の思いを受け入れてもらえたり、上手くいった時にはやる気に繋がったりして、今年の発表会はいつもと違った充実感も味わえたはず！なんでも自分の思うようにうまくいくものではないという苦い経験も、それを友達と一緒に乗り越えたことでこの先子ども達にとっては確実に心の支えになってくると思います。素敵な発表会になりますように。（[自立心](#)・[協同性](#)・[言葉による伝え合い](#)）